

1 児童の実態

(1) 学習状況調査結果の推移

H30 入学 現 6 年生	国語		算数	
	5 年時	6 年時	5 年時	6 年時
	県 (12 月)	全国 (4 月)	県 (12 月)	全国 (4 月)
	68.4	70.0	45.7	60.0
	(1.05)	(1.03)	(0.91)	(0.98)
R5 正答率の全国比		1.04		0.96

◎ 5 年時は佐賀県学習状況調査、6 年時は全国学習状況調査の推移。

◎ 上段は平均正答率、下段( )は県平均を 1 としての比較。

◎ 「令和 5 年正答率の全国比」は全国平均を 1 としての比較。

(2) 学習状況調査・意識調査から読み取れる実態

<p><b>【学習状況調査】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国語は、思考、判断、表現の内容において「話すこと・聞くこと」と「読むこと」は全国・県平均より高くなっているが、書くことについては 10 ポイント以上低くなっており課題がある。</li> <li>・算数は、5 年時～6 年時の推移で見ると、県との差は縮まってきている。</li> <li>・図表やグラフ等を用いて自分の考えを表す力をつける必要がある。</li> </ul> <p><b>【意識調査】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭学習の時間は、県平均とほぼ同等とみることができると考える。家庭での読書時間に課題がある。</li> </ul>
---

2 改善に向けた具体的な取組

(1) 授業づくり、指導方法の改善・充実のための重点取組

<ul style="list-style-type: none"> <li>・記述式の問題に取り組む時間をつくり、自分の考えを図表やグラフを用いて分かりやすく伝える学習を多く設定する。</li> <li>・文章問題に取り組ませる時間を確保し、児童のつまづきを見取る時間を確保していく。</li> <li>・友だちの良い考えに触れたり、学んだことからさらに考えを深めたりするために、振り返りを重点的に行う「わがとも月間」を実施する。</li> </ul>
---

(2) (授業以外) 児童・生徒の課題改善のための重点取組

<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭学習を充実させるため、自主学習を勧めている。全校で自主学習コンテストを行ったり、自主学習週間を設定したりして家庭学習に取り組む意識を高めていく。</li> <li>・家庭での読書を推奨し、読書も家庭学習の 1 つとして位置付ける。週末においても、読書に取り組むよう声かけを行う。</li> </ul>
--